



“楽しい”鑑賞授業づくりのためには、まず先生自身が鑑賞し、その曲に対する様々な思いを持つことが必要です。『教材研究シート』の3回目は、5年生の「組曲『カレリア』から『行進曲風に』」です。
 なお、この【解説編】が聴き方の全てではありません。また、感じ方も人それぞれです。＜あなたならではの＞の気づきを授業に生かしてください。

〔第3回 5年生① 解説編〕

組曲「カレリア」から「行進曲風に」（シベリウス作曲）

※この楽曲は、教育出版＜学びリンク＞で、楽譜が進む動画を見ることができます。音楽に合わせて音符が点滅するので、どの楽器が演奏しているのかが分かります。教材研究に活用してみたいでしょうか。

使用する教科書とCDは、教育出版です。一度で聴き取ろうと思わずに、必要に応じて繰り返し何度でも聴いてみましょう。

【聴1】CDのトラック21を聴いて、聞こえた音色の印象を、大まかに書きましょう。

子どもたちは、この曲で初めて“オーケストラ”という名称を使って“数種類の楽器丸ごと”で鑑賞します。まずは“楽器の音色”を十分に味わってほしいです。

これまでは、弦楽器(小3：ユモレスク、白鳥)・木管楽器(小3：メヌエット、小4：ノルウェー舞曲)・金管楽器(小4：アラ ホーンパイプ)のように、各楽器の音色を単独で聴ける曲を鑑賞してきました。

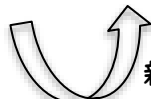
弦・木管・金管の響きのイメージがピンとこない場合は、ぜひ上記の曲を聴いてみてください。なんとなくのイメージをつかめると、この教材研究も進めやすくなります。

※授業でも、「楽器当てイントロクイズ」のような導入をすることが考えられますね。

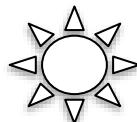
【聴2】大きく二つの旋律が表れたことに気づきましたか？教科書にも「ア・イ」の楽譜が載っています。CD15・17・19で旋律アを、16・18で旋律イを聴いてみましょう。

(1) まずは、旋律ア15と旋律イ16の聴き比べです。旋律の特徴（リズム、音の上がり下がり）や、聴こえてくる楽器の音色について気付いたことを言葉や線で表しましょう。

音の上がり下がりにこだわらず、形でも色でも良いです。違いが分かれば良いのです。



新体操のリボンのような…



お日様

黄、お花畑、狩り、
ピンク、舞踏会

(2) 次は、同じ旋律同士を比べてみましょう。聴こえてくる楽器の音色に注目しましょう。

① 旋律ア17・19を聴き、15と比べて気付いたことを言葉で表しましょう。

② 同様に、旋律イ18を聴き、16と比べて気付いたことを言葉で表しましょう。



同じ旋律でも、使われる楽器が変わると雰囲気も変わります。
 対にしたり【柔らかい or 硬い】【温かい or 冷たい】【浅い or 深い】
 例えたり【ふわふわ】【〇〇のような音】 ※教科書p76も参考に。

※＜学びリンク＞を使うと、視覚的にも確認できます。

【聴3】CDのトラック21で、曲全体を味わって聴き、この曲の良さやお気に入りの部分を紹介しましょう。【聴1】と【聴2】で表現したことを結びつけて書くと良いですよ。



気が付いたら、今回も10回近く聴いていました。オーケストラは様々な楽器の音色を感じられて楽しいですね。

そのとおり！素晴らしいことに気づきましたね。
 中学校でも、オーケストラの作品をたくさん鑑賞します。小学校段階で、子どもたちに何度も聴かせてたくさん感じ取らせ、根拠と合わせて言葉で表現させることが大切です。時には、「どうして？」と問い返し、より具体的な言葉で表現させましょう。先生の言葉かけ一つで、感性がどんどん豊かになります。
 いかがでしたか。楽しく聴けましたか？次回もお楽しみに！





【聴1】 楽器の音色の印象、全体的な感想

<hr/> <hr/> <hr/>

【聴2】 二つの旋律の特徴

(1) 旋律の主な動き、楽器の音色

	ア (トラック15)	イ (トラック16)
動き		
音色		

(2) 楽器の音色、イメージしたことや自分の気持ち

① 旋律ア

② 旋律イ



トラック17	トラック19	トラック18

【聴3の前に…ゆとりのある人へのおまけ】 終わりの部分20では、旋律イが見え隠れします。フィナーレに向けての、気付いたことや好きなところがあれば書きましょう。

<hr/>

【聴3】 この曲の良さやお気に入りの部分の紹介

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/>





【聴1】楽器の音色の印象、全体的な感想

バイオリンの軽やかな旋律で始まった。速くて、草原の中を駆け抜けているような感じ。途中でトランペットのような楽器に変わった。他の金管楽器も聞こえて、明るくて力強い。太鼓のような音も小さく聞こえた。バイオリンと金管の旋律を違う楽器で繰り返した。

【聴2】二つの旋律の特徴

(1) 旋律の主な動き、楽器の音色

	ア (トラック15)	イ (トラック16)
動き	<p>軽やかな感じではねるように高くなっていく。高いところでもまたはねる。</p>	<p>パンパーンと歯切れ良い。高いところから下りて行ってまた上がる。</p>
音色	<p>こずれる音。ギコギコしてなくてスーッとさわやかな音。 高くて、楽しくおしゃべりしているような明るい音。温かみのある音。 深くて包み込むような音もする。</p>	<p>快晴の空のようにすっきりした音。 ドコドコという太鼓の音や、チリリンというトライアングルの音がする。 トランペットより低くてババーンという音とシンバルの音もする。</p>

(2) 楽器の音色、イメージしたことや自分の気持ち

① 旋律ア

② 旋律イ



トラック17	トラック19	トラック18
フルートとそれより高い音が小鳥のさえずりのように感じた。それを追いかけるちょっと硬いようなおもしろい音が聞こえた。フルートたちとバイオリンの追いかけては鬼ごっこではなく、もっと優雅な感じ。太鼓の音がない？	15と同じくバイオリンで始まる。フルートたちが追いかける。2回目はバイオリンより深めな音で追いかけている。小さくなったと思ったら、ポポポポというかわいい音で低い所から階段を駆け足で上るような音が聞こえた。	16の2回目のババーンという力強い音で始まる。ポパーンという柔らかな音も混ざっている？トランペットのパパパパパという合いの手が入ると急かされているよう。途中突き抜けるような高い音が入り、盛り上がった。

【聴3の前に…ゆとりのある人へのおまけ】終わりの部分20では、旋律イが見え隠れします。フィナーレに向けての、気付いたことや好きなところがあれば書きましょう。

旋律アの最初の部分が流れると、旋律イの最初の部分がアを打ち消すように大きく入ってきて、存在感がある。最後は全部の楽器で旋律アを演奏するので、格好よく盛り上がって終わる。

【聴3】この曲の良さやお気に入りの部分の紹介

最初バイオリンのさわやかな音色で軽やかにはねるような旋律が流れるので、草原を駆け抜けるような気持ちになる。すると、トランペットの鋭く歯切れの良い音色がパンパーンと格好よく入ってきて、目が覚めるようだ。この曲は、二つの旋律が交互に2～3回ずつ出てくる。私は旋律アの2回目が好き。フルートやピッコロの高い音が小鳥のさえずりのようでかわいいから。

